

環境・健康・安全に対する取り組み

基本的な考え方

東京エレクトロンでは、当社の継続的な成長と社会の持続的な発展のためにCSR(Corporate Social Responsibility)経営を推進しています。当社は、CSR経営の中心を、当社やお客さまの施設内における安全性について絶対の地位(信頼)を確保すること、そして当社が携わるあらゆる分野で環境負荷を低減することの二点に置いています。環境と安全の両立に関しては、装置の開発段階から経営資源を投入し、その実現を目指しています。

東京エレクトロンは、1997年よりISO14001に基づく環境管理を続け、各事業所で認証取得を行ってきました。また、事業に関わるあらゆる人々が、健康かつ安全で、快適な生活を継続的におくることができることも、環境問題と同様、大切なことと認識しています。この取り組み姿勢を明確にするため、1998年に、「環境に関する基本理念／方針」及び「安全・健康に関する基本理念／方針」を制定いたしました。また、経営理念でも安全と健康と環境について明記しており、EHS(Environment, Health&Safety)活動をグループ全体で推進しています。

環境に対する取り組み

■地球温暖化の防止

京都議定書の発効などにより、企業に対する地球温暖化防止に関する要求は高まっています。

当社の事業に関わる二酸化炭素排出には、当社製品の使用時における排出と当社製造系事業所や事務所でのエネルギー使用における排出とがあります。当社では、独自のライフサイクルアセスメント(LCA)を用いて試算した結果、製品使用時の排出量が比較的に多いため、製品の環境対策を特に進めていく方針です。

■製品の環境対策

当社は、お客さまからの環境に関する提案を製品に反映し、半導体製造時の環境負荷低減や、装置材料からの有害物質排除を進めてきました。なかでも、製品のライフサイクルを通じた環境負荷について重視し、いち早く製品の製造から使用、廃棄までの各段階における環境負荷に関するデータを集計してきました。現在、製品のLCAデータの蓄積、製品設計時のデータ活用により、当社グループの省エネルギーは業界をリードするレベルまで向上しています。

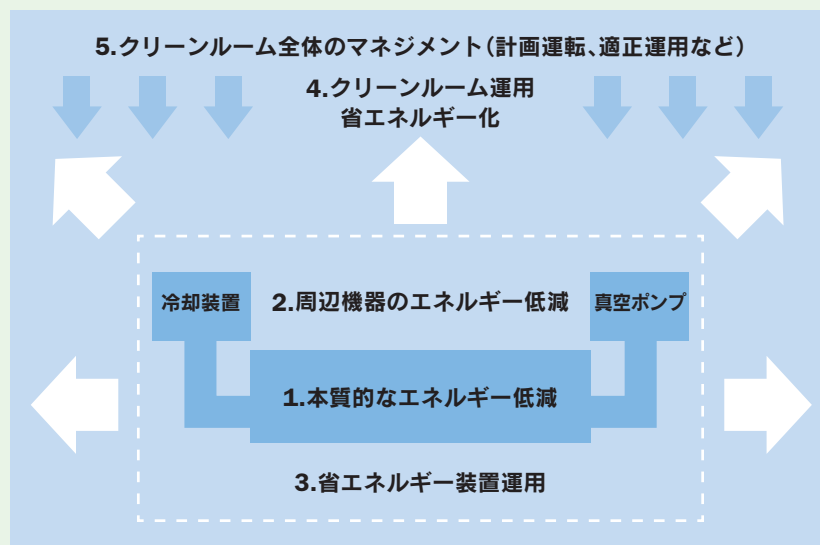
また東京エレクトロンの製品の多くはクリーンルーム内で製造・使用されるものであることから、装置からクリーンルーム全体までを含めた多角的な省エネルギーへのアプローチを進めています。

具体的には、図に示すように、以下の5つのアプローチがあります。

- 1.装置本体の本質的なエネルギー低減
- 2.装置の周辺機器のエネルギー低減
- 3.装置の省エネルギー的な運用
- 4.クリーンルームの運用の省エネルギー化
- 5.クリーンルーム全体のマネジメント(計画運転、適正運用など)

装置及びクリーンルームの運用に関する点は、お客さまのご協力をいただきながらご提案して進めていく予定です。

当社では、それぞれに対する取り組みを進め、省エネルギー製品の提供、装置の省エネ運用のご提案などを行っています。



■鉛フリーはんだの導入推進

EU(欧州連合)では各種の指令に基づき、2006年6月までに水銀、カドミウム、鉛など有害な物質の電気機器への使用が禁止されます。半導体製造装置はこれらの指令の対象外ですが、当社グループでは汚染の未然防止に努めるため、自主的かつ計画的に鉛フリーの取り組みを進めています。

当社グループでは、鉛フリーはんだの導入を推進するため、各社・各事業部代表者などによる鉛フリータスクチームを結成し、活動を行っています。2005年度には、鉛フリーはんだを使った製品の生産準備に入り、2006年1月から生産開始する装置より実施予定です。

■環境管理システムの導入

製造系の各事業所では、ISO14001に基づく環境管理システムを構築・実行し、認証を取得しています。2004年度は東京エレクトロンデバイス(株)横浜事業所及び東京エレクトロンAT(株)宮城事業所にて認証を取得しました。

■省エネルギーの取り組み

当社では、事業所でのエネルギー使用量削減を通じて地球温暖化防止に努めています。各事業所では照明やOA機器の節電、空調の温度管理の目標を掲げ、省エネルギー活動に取り組んでいます。製造・開発に関わる製造系の事業所では、連休時の計画的設備停止や各作業の効率化を図り、エネルギー使用量の低減に努めています。

これらの取り組みのなかで、東京エレクトロン九州(株)合志事業所は2005年2月に、夜間・休日のクリーンルーム循環風量の調節、物流エリアの照明の間引きによるエネルギー対策を評価され、エネルギー管理優良工場等・功績者表彰において、九州経済産業局長賞エネルギー管理優良工場等(電気部門)を受賞しました。



東京エレクトロン九州(株) 合志事業所

■グリーン調達

当社では、装置を構成する原材料や部品のほとんどを外部から調達しています。当社グループの事業活動全体の環境負荷を低減するためには、調達する部品、原材料が環境に配慮して製造されたものでなければなりません。そこで、当社では、環境負荷低減活動を積極的に行っている取引先から、グリーン調達ガイドラインに従って、物品の購入を進めています。将来は「環境面で一定の基準を満たした取引先」に限定した資材調達を実施する予定です。



グリーン調達ガイドライン

■環境報告書の発行

当社は、2000年より環境報告書を発行しています。事業活動に関わる全ての皆さまへできるだけ多くの情報を発信し、共有化を行ってコミュニケーションを深めることが重要と考えています。2005年3月期の環境報告書は2005年秋頃に発行の予定です。



環境報告書2004

■安全と健康への取り組み

東京エレクトロンでは、社員やお客さまの安全と健康優先、装置の安全性に配慮した設計など、企業活動のあらゆる側面で「健康と安全」を推進しています。

「東京エレクトロングループの安全／健康に関する基本理念／方針」のなかには、各種業務の遂行において安全や健康に対する配慮を常に念頭において行動する責務が、従業員に課せられていることが明示されています。この理念／方針の実行のために、当社では出荷製品、各種組立・据付作業についてのリスクアセスメントを推進しています。これにより、リスクが高いと判断された事項は、そのリスクの削減を計画的に実行しています。また、作業前には危険予知を行い、作業のなかの危険を見つけ出し、危険を回避する手段を講じています。